



日本臨床内科医会
専門医・認定医のご案内

2025年4月
一般社団法人 日本臨床内科医会

1. 目的

一般社団法人日本臨床内科医会（以下、日臨内）は、臨床内科医としての資質の向上をはかり、より良質な医療を提供することにより国民の健康保持と福祉の増進に寄与することを目的として、認定医制度を1995年から、専門医制度を2007年から制定しています。

【メリット】

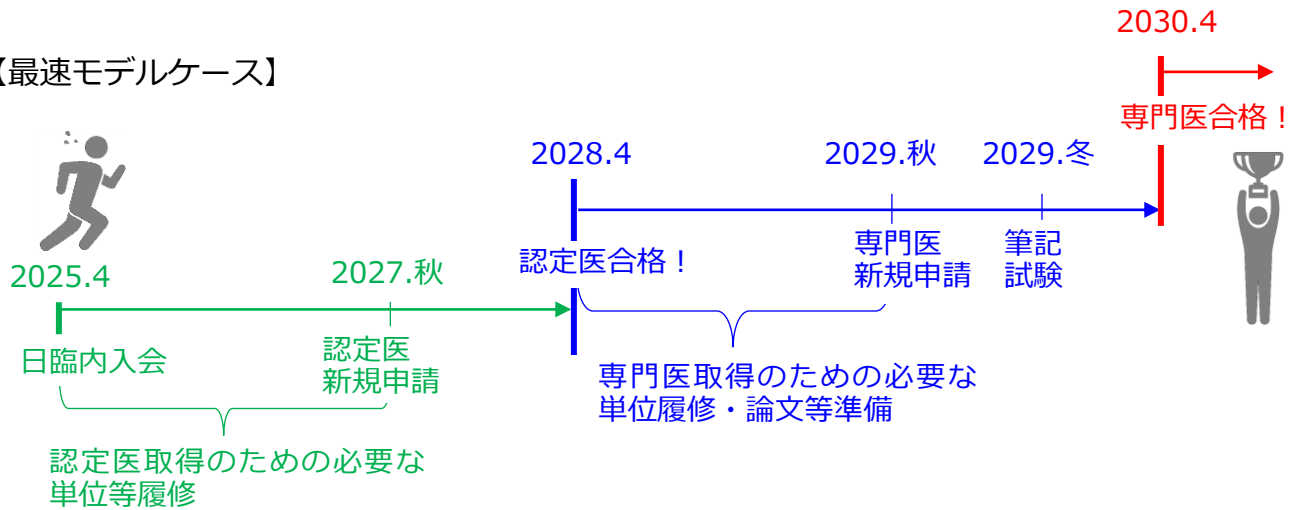
- ①日臨内が認める資格取得者として、内外に周知する証ができる。
- ②日臨内専門医を取得することで、他団体の資格取得にもつながる。
 - ・日本糖尿病協会・・・「糖尿病認定医」
（申請や糖尿病協会会費等は必要。詳細は日糖協HP <https://www.nittokyo.or.jp/> 参照）
 - ・日本専門医機構・・・総合診療専門医を指導する「特任指導医」
（指定された特任指導医研修会への参加等条件あり。詳細は機構HP <https://jbgm.org/> 参照）

2. 資格の種類

日臨内の資格は「認定医」と「専門医」の2種類、階段式となっています。最速で、認定医は日臨内に入会してから3年後に、専門医は認定医取得後2年後に取得できます。（*）

（*）入会年月や必要条件の取得状況によって異なります。

【最速モデルケース】



3. 新規申請要件

認定医	専門医
<ul style="list-style-type: none">●入会して3年以上●臨床経験5年以上●日臨内総合学術集会（総会）・医学会などの出席件数2件以上（*1）●総研修単位数 50単位以上（*1）	<ul style="list-style-type: none">●日臨内認定医資格あり●日臨内総合学術集会（総会）・医学会などの出席件数4件以上（実出席2件以上）（*2）●総研修単位数 100単位以上（*2）●論文（*3）●筆記試験（*4）

（*1）有効単位は、①申請年度を含め過去3年以内に履修したもの、②総会医学会は期間中の参加必須。（参加登録だけは不可）

（*2）有効単位は、①認定医の現認定期間内に履修したもの、②総会医学会は期間中の参加必須。（参加登録だけは不可）

（*3）①医療・保健・福祉に関するものであって、診療の現場からの医師の視点、提言などでもよい。

②未発表の内容に限る。③内科領域に関わらず、自身の専門科領に関する内容でも可。

④字数は2,000字前後、主題（タイトル）をつけて「である調」、論文形式（序論・本論・結論・考察・文献等）で記載すること。

（*4）筆記試験の実施日は、申請者に別途通知。申請者へ送付される試験問題を指定期日内に解答し、返送する方法。

4. 新規申請FAQ

1) 最短で資格取得できるのは？

認定医の新規申請要件である「入会して3年以上」とは入会した年度を含めて3年後、「臨床経験5年以上」とは医師免許取得後5年経過、という概念になります。また、専門医は認定医取得した年度から最低でも2年ないと履修条件を満たすことができません。

以上のことから、入会后約5年で専門医まで取得可能です（前ページモデルケース参照）。なお、合格した際の資格の認定日は、新規申請した年度の翌年4月1日付となります。

2) 単位の有効期限は？

認定医新規申請に必要な履修条件は、新規申請年度を含め過去3年以内（例：2024年度に新規申請する場合は2022年4月以降のもの）に履修したものに限りです。専門医新規申請に必要な履修条件は、認定医現認定期間内に履修したものに限りです。認定期間が新しくなるごとに、履修単位はゼロから再スタート（単位の使い回しはできない）となります。

また、新規申請時には履修条件参加の受講証コピーが必須となりますので、受講証や参加証は大切に保管しましょう。（原則、再発行ができません）

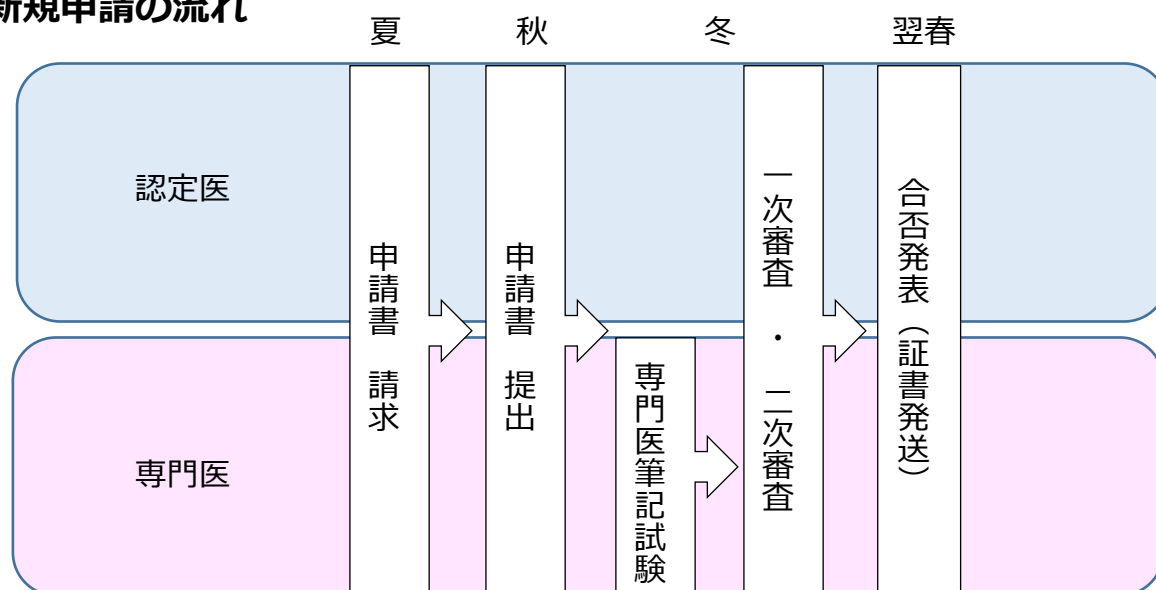
3) 専門医の論文 書き方は？

論文となりますので、感想文・散文等にならないようご注意ください。また、既に雑誌等へ投稿したものではなく、日臨内専門医新規申請用に記載いただきます。問題提起～考察・検討～結論＋文献等の形で、誤字脱字等にも注意して記載してください。

4) 専門医の筆記試験

専門医筆記試験は、会場で受験者を集めて行う形式ではなく、事前に受験者へ試験問題を郵送し、期間内に回答する形式です。診療を休むことなく、対応することが可能です。

5. 新規申請の流れ



試験の詳細やスケジュールは、日臨内会誌やホームページで毎年7月頃告示される内容をご確認ください。なお、提出する申請書に不備がある場合は受理できません。

6. 更新

認定医、専門医どちらも認定期間は5年。認定期間終了半年前に下記更新条件と手続きが必要です。

認定医	専門医
<ul style="list-style-type: none">●日臨内総合学術集会（総会）・医学会などの出席件数2件以上●総研修単位数 50単位以上	<ul style="list-style-type: none">●日臨内総合学術集会（総会）・医学会などの出席件数2件以上●総研修単位数 60単位以上

研修項目	認定医制度	専門医制度
日臨内総合学術集会（旧名：総会）(*1) 出席 日臨内医学会 出席	20単位+出席件数1件	20単位+出席件数1件
総合学術集会・医学会 WEBアーカイブ版(*2)での学習	10単位+出席件数1件 上限 40単位+出席2件	10単位+出席件数1件 上限 40単位+出席2件
日臨内主催講演会	1回5単位	1回5単位
地区催行講演会	1回5単位 上限10単位/1年間	1回5単位 上限10単位/1年間
会誌での指定研修講座Q&A	8単位/号	8単位/号
日臨内医学会での発表	10単位（筆頭加算5単位）	10単位（筆頭加算5単位）
日臨内会誌での学術発表	10単位（筆頭加算10単位）	10単位（筆頭加算10単位）
日臨内主体または共同の臨床研究参画	10単位/1研究・1年間	10単位/1研究・1年間
その他研究参画（J-DOME等）	5単位/認定期間内1回	5単位/認定期間内1回
日本医師会生涯教育 認定証	30単位 上限認定証1枚まで	30単位 上限認定証1枚まで
特別講演会	10単位 上限20単位/1年間	10単位 上限20単位/1年間
日本医学会総会 出席	/	10単位（参加証のコピーを提出）
日本内科学会総会 出席		10単位（参加証のコピーを提出）

*1・・・毎年春に開催されている日臨内総会は、定款変更に伴い、2024年度より名称を変更（総会→総合学術集会）。

*2・・・2023年度まではコンベンションDVDでの提供→2024年度よりWEBアーカイブ版へ移行。

【単位付与注意事項】

- ・日臨内総合学術集会・医学会は、参加登録だけでは単位付与対象にならない（当日の参加必須）。
- ・実出席した同一総合学術集会又は医学会の出席件数並びに研修単位を、WEBアーカイブ版で重複し取得することは不可。
- ・WEBアーカイブ版は、総会医学会が実際に開催された年分として付与される（視聴購入した年分ではない）。
- ・認定医新規申請の場合は、申請年度を含めて直近3年間で履修したもののみ単位としてカウント。
- ・専門医新規申請の場合は、現認定医認定期間内に履修したもののみ単位としてカウント。

横のQRコードから、上記詳細な単位のご案内や
取得方法がPDFで閲覧できます。
ぜひご参照ください。



お問合せ先：(平日10:00~17:00)

日本臨床内科医会 研修推進委員会事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館4階
TEL:03-3259-6114 FAX:03-3259-6125 Eメール:jpatraining@nichirinnai.jp